

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	総合的な学習の時間「プログラミングに挑戦しよう！」
学年	第5・6学年
目標	プログラミングの体験を通し、論理的思考力及び情報活用能力の育成を図る。
教材タイプ	テキスト言語・ビジュアル言語
使用教材	マイクロビット
環境	1人1台のタブレットパソコンを使用
都道府県	東京都
実施校	荒川区立尾久小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p><早稲田大学との連携事業における出張授業 ～プログラミング教育～></p> <p>①マイクロビットの起動と概要の説明</p> <ul style="list-style-type: none">・児童らはとても興味深く話を聞いており、教材に対する関心がとても高い様子だった。 <p>②マイクロビットの基本的な操作を知り、自分で文字や簡単な形をビット画で作成する。</p> <ul style="list-style-type: none">・パソコン上で、自分が指示した通りにビット画が作られていくことに喜びを感じている児童が多かった。・複数のビット画を作成し、1つの動画のようにコマ送りで表示させた。最初のビット画から最後のビット画までどのように表示させていくのか意欲的に考える姿が見られ、論理的思考をしていた。 <p>③端末にマイクロビットの機器を接続し、実際に光を出したり、音を鳴らしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none">・ビット画と音を組み合わせて、キャラクターにダンスさせるようにプログラミングをする児童もいた。全体的に論理的思考がさらに深まったようだった。
成果と課題	意欲的に活動に取り組む児童が多く、主体的に学び、またマイクロビットと対話しながら、論理的思考を深める姿が見られた。

